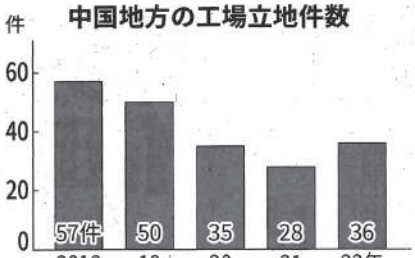
# 工場立地件数 4年ぶり増

## 22年中国地方 設備投資持ち直し

経済産業省がまとめた2022年の工場立地動向によると、中国地方の立地件数は36件と前年を8件上回り、4年ぶりに増えた。新型コロナウイルス禍で落ち込んでいたが、企業の設備投資の動きが持ち直した影響とみられる。（榎本直樹）




経産省は「設備投資を抑える動きが落ち着いた上、自治体の補助制度も追い風になったのでは」とみる。前年は1967年の調査開始以降で最も少ない28件にとどまっていた。

業種別は金属製品が9件と最も多かった。食料品と電気機械が各4件、木材・木製品と生産用機械が各3件で続いた。立地地点を選ぶ際に最も重視した理由は「本社・他の自社工場への近接性」が4件、「国・地方自治体の助成」が3件の順で多かった。

県別は岡山が13件と2件増えて最多だった。ゴム・プラスチック製品メーカーのオカモト（東京）によると、井原市に工場と物流倉庫の用地約4・7ヘクタールを22年6月に同市から取得した。広島は6件で横ばい。山口は9件で2件増、島根は3件で1件増、鳥取は5件で3件増だった。

取得面積は62ヘクタールで3倍に増えた。広島が9ヘクタールで4ヘクタール増、山口が11ヘクタールで7ヘクタール増、岡山が39ヘクタールで28ヘクタール増。島根は企業の秘密保持のため公表していない。鳥取は4ヘクタールだが、同様の理由で前年を非公表にしている。

経産省は工場立地法に基づき、工場や研究所を建てるために借地を含めて0・1ヘクタール以上の用地を取得した事業者の動向を毎年調べている。

# 女性活躍の企業 広島労働局認定

## 尾道の丸善製薬など

広島労働局は20日、女性の活躍を推進する「えるぼし」企業に食品原料など製造の丸善製薬（尾道市）を認定した。仕事と子育ての両立に高水準で取り組む企業を認定する「くるみん」には、精米機製造のサタケ（東広島市）と、半導体製造装置を造る大宮工業（福山市）を選んだ。

釜石局長（右端）から認定通知書を受け取った日暮社長（右から2人目）たち

丸善製薬は管理職に占める女性の割合や労働時間など、厚生労働省が定めた5項目の基準を全て満たし、3段階で最高位の「三つ星」の認定を受けた。尾道市の事業者のえるぼしは初めて。

サタケは育児や介護などで離職した従業員を再雇用する制度を始めるなど、長く働きやすくする取り組みが評価され

育児・介護を社内に

め、資料に

に配った。

広島市内で、釜石

代表者に認

した。丸善

社長は「取

れ従業員の

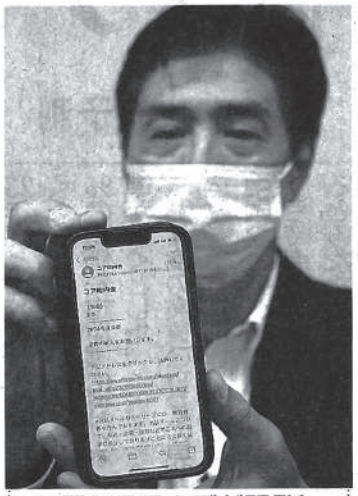
より良い企

げたい」と

広島県内で20事業者

事業者が

# 町内会の集金 オンラインで



コアシステムズが開発した集金代行システム。カードで支払うアドレスを記載したメールの配信などができる

システム開発のコアシステムズ（福山市）は20日、町内会や同窓会、サークルなど非営利団体内の連絡や集金をオンラインで実現するサービスの提供を始めた。集金する役員たちが会員宅を何度も訪れるなどの運営上の負担を軽減する。

役員たちはパソコンやスマートフォンから、登録されたメールアドレスに一斉に連絡事項などを送信。内容を読んだか確認できるほか、出席や欠席などの回答の選択肢を設定して集計もできる。会費などをクレジットカードで支払うサイトのアドレスやQRコードを作り、メールや無料通信アプリLINE（ライン）、書面で配布。オンライン決済を通じて集金ができる。集金代行システムだけの提供もする。

これまでクレジットカード決済のサービス提供は、法人か個人事業主に限られ、町内会などでの利用ができなかった。新しいサービスではコアシステムズが代理で集金して利用団体の口座に振り込むことで、カード利用を可能にした。料金は、集金先が500人以下の場合、初期導入費3300円、月額利用料3300円。集金1人ごとに利用料30円などが別途必要。

## 福山のコアシステムズ 同窓会など出欠確認も

町内会では共働きや1人暮らしの世帯が増え、会員宅の留守の時間帯が増加。集金のための繰り返しの訪問など負担が増えているという。同社はスポーツチームや寺院の檀家会など、会費を集める団体の利用を想定。「少人数の役員でも効率的に運営する助けになる」としている。（筒井晴信）

◆新

ラメ入りの輝くインク

寺西化学
ガラスペン
りインク
ルインキ」
から八つの
サニーイエ
レッドなど
ってラメの
やイラス
内容量は
価格は1
口☎06
8。